

アントニオ・メネセス チェロ公開マスタークラス 開催のご案内



日 時： 2018年10月10日(水) 19:00開講 (18:30開場)

会 場： Hakuju Hall

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目37-5 (株)白寿生科学研究所 本社ビル 7F

※代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分、代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分
京王バス、ハチ公バス「富ヶ谷」停留所下車徒歩1分

聴講料： 日本チェロ協会会員：無料

※全席自由 非会員 ¥2,000 (当日¥2,500) 学生(非会員) ¥1,000

※申込先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。

●受講を希望される方(対象:チェロ協会会員) <申込〆切:9月10日(月)[必着]>

別紙の「受講者募集要項」をご覧ください。

●聴講を希望される方 <申込〆切:10月3日(水)>

下記の「聴講申込書」にご記入のうえ、日本チェロ協会事務局へFAX、又は同内容をメールにてお申し込み下さい。お申込後にチケットご案内方法をお送り致します。

※お申込み後、ご案内を持ってご予約完了となります。万が一満席の場合はご了承ください。

※入場券はお申し込み者(ご本人様のみ)ご入場可能です。

Antonio Meneses Profile



© Clive Barda

1957年、ブラジルのレシフェの音楽一家に生まれ、10歳でチェロをはじめ。16歳で著名イタリア人チェロ奏者アントニオ・ヤニグロと出会い、門下生となり渡欧。デュッセルドルフ、後にシュトゥットガルトでヤニグロに学び、1977年にはミュンヘン国際音楽コンクール、1982年にはモスクワのチャイコフスキー国際コンクールで優勝を果たす。

メネセスは欧州、北南米、アジアの主要音楽都市で、世界有数のオーケストラや世界を代表する指揮者と共演をしてきた。その中には、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響、イスラエル・フィル、スイス・ロマン管、ニューヨーク・フィル等の世界のオーケストラなどがあり、共演した指揮者には、カラヤン、ヤンソンス、アバド、プレヴィン、プロムシュテット等が挙げられる。2014-15年シーズンではロンドン・フィルハーモニー管弦楽団やスコットランド室内管弦楽団、パリ管弦楽団、サンパウロ州立交響楽団等との共演が予定されている。

後進の指導にも熱心で、欧州ではスペインのソフィア王妃高等音楽院やイタリアのキジアーナ音楽院に加え、2008年からはベルン音楽院で教えている。また、北南米や日本でも積極的にマスタークラスを行っている。

一般財団法人 日本チェロ協会事務局 佃行 (FAX 03-3582-1310)

10/10 アントニオ・メネセス マスタークラス 聴講申込書

会員番号		氏名	
住所	〒		
電話番号	()	-	
FAX番号	()	-	
メールアドレス			

一般財団法人 日本チェロ協会 〒107-6022 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号
PHON:03-3505-1991 FAX:03-3582-1310

主催:一般財団法人 日本チェロ協会 協賛:Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所